



みらい通信

各務原市議会
市民派・チームみらい
杉山 元則

事務所：蘇原緑町 4-15

電話 090-7678-7869

FAX 058-382-3980

120億円の体育館建設計画が進んでいますが、基本計画を見ると決まっていないことなど疑問点があり、一般質問でその内容を質問しました。市は「かわら版」を14号まで発行して市民に説明していますが、まだ基本計画ができた段階です。新体育館完成は7、8年先で、新体育館建設の予算の殆どは議会で可決されていません。この通信を読んで、事業の妥当性について考えて下さい。

①現総合体育館の取扱いを決めていません

計画作成時に決めるはずが未だ決めずに先送りしています。

②3000席必要なイベントは何も決まっています

固定観覧席1400席を含む3000席を確保すると計画しています。

③事業費120億円がさらに高騰する可能性があります

資材価格や人件費高騰で事業費が変動する可能性があります。

④料金設定や収入見込みを詳細におこなっていません

現時点で毎年約1億円赤字を見込んでますので、毎年税金から1億円を補てんする必要があります。

新総合体育館・総合運動防災公園事業費 120億円

イメージ図



現体育館は、解体される可能性があります！



市は、「新総合体育館の完成は、7、8年先の話ですので、現時点で、現総合体育館をどうするかは決めることが出来ません。現に年間20万人に愛されている大切な施設ですので、適切に管理して使っていくこととなります。

ただし、新総合体育館に機能移転した後については、その時点でどうするかを判断する必要があります。」と回答しています。市の資料にも、現総合体育館としての機能を新総合体育館にて代替した場合には、現総合体育館は体育館以外として利用することも検討します。と書かれていて、解体する可能性はあることとなります。

【杉山の質問】いつ、どのような方法で取扱いを決定するのか。

【市の答弁】可能性だけを言えば、壊すことはあるし、残すことはあるし、民間で活用することもある。決定の時期についても今、正に検討をしている段階で早めに決めていきたい。方向性が決まれば、ウェブサイト等で周知していきます。



一般質問動画をご覧ください

市民派チームみらい 市政報告会

2月18日(土曜日)

10時～ 産業文化センター第1会議室

13時30分～ 中央ライフ 第2研修室

3000席(固定席1400席 可動席1600席)を確保する計画

【杉山の質問】固定席1400席が必要なイベントとは何か。

どのくらいの頻度を見込むか。

【市の答弁】岐阜スーパースは現在プロバスケットB3所属ですがB2への昇格を目指して頑張っており、B2へ昇格した時に3000席あると良いということ。固定席は観覧者だけではなく大会で荷物を置いて観覧したりとか1000席はほしいと意見があり、1000席を配置したら自然に1400席となった。1400席必要なイベントは何で、その頻度についてお答えすることはありません。

【杉山の質問】プロバスケット岐阜スーパースの入場者数は

【市の答弁】コロナ禍前の観客数は最大1700人で、1試合当たりの平均は把握していません。

【杉山の質問】新体育館の利用料収入の見込みは

【市の答弁】新総合体育館における施設の貸出単位や料金設定について検討する前の段階であり、詳細な収入見込みは行っていないためお答えすることはできません。

【杉山の質問】物価高騰しており事業費の見直しとその公表は

【市の答弁】基本計画にも“資材価格や人件費高騰により事業費が変動する可能性がある”と書いてあります。いくらまでなら事業を進められるかは、お答えすることは困難ですが、物価動向を注視しながら慎重に検討します。

浅野市長は新体育館の一般質問に答弁しません

【杉山の質問】浅野市長が直接市民に説明する機会を持つべきではないか。

【市の答弁】我々職員は身分が違いますが、心の中では市長のつもりになって働いています。

市長が直接ということで最たるものが、先日、小中学生を対象にした新体育館についての夏休みの作品の表彰がありました。その後に、子供たちと保護者がツーショットの写真が撮りたいからと並んでいました。市長は次の公務がありました。市長と写真撮影をしました。市長と写真が撮りたい、正に市民に近い市長だと、職員の私も誇りに思いました。そのように市長は市民に直接訴えかけています。

また、市長選挙では、公約の中で新総合体育館整備推進を掲げております。結果的に80.6%の得票率を得ております。その事実からしても市長は市民に説明しております。市民も体育館建設を受け入れたということだと考えております。

新丸山ダム工事残土の安全性に問題はないか



新総合体育館建設予定地(各務山の前)に新丸山ダム工事が出た残土1万5000立米(およそ10tダンプ2000台分)を運び入れる予算が提出されました。新丸山ダムの土砂からヒ素が検出された調査報告があり、「土砂の安全性はどのように確認するのか」を質疑しました。

市は、「国が5000立米ごとに調査するので問題ない」と答弁しましたが、有害物質が含まれているかもしれないと住民に不安を与えるので「市も独自に土壌調査すべき」と訴えました。予算には反対しました。採決の結果は賛成多数で予算が可決です。